

令和2年度 霧島市自殺対策検討委員会 会議要旨

開催日時	令和2年10月15日(木) 19:30～20:45		
開催場所	霧島市役所 別館 4階 大会議室		
出席委員	野田委員、有川委員、山崎委員、竹田委員、林委員、竹内委員、田上委員、富田委員、姥委員、徳田委員、岩元委員		
事務局	【健康増進課】小松課長、吉村健康づくり推進グループ長、東郷主査、黒松主任主事、安田主事【すこやか保健センター】島木所長、重留副所長		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
議事 (1) 健康きりしま21(第3次)計画【休養・こころの健康づくり分野】の進捗状況と主な取り組みについて (2) 霧島市自殺対策計画(素案)について (3) その他			
協議結果等の概要 委：委員 事：事務局			
(1) 健康きりしま21(第3次)計画【健康づくり分野】の進捗状況と主な取り組みについて ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの質問はなし。			
(2) 霧島市自殺対策計画(素案)について ⇒ 事務局が資料に沿って、第1章～第3章までと第4章から資料編まで分けて説明。委員からの質問はなし。霧島市自殺対策計画(素案)として承認。			
(3) その他			
委 ：令和2年度の計画・実施にゲートキーパーの養成とあるが、どのような計画か。			
事 ：窓口対応職員を対象に実施予定。厚生労働省の手引きを参照して行う。ロールプレイを考えている。			
委 ：歯周病検診やがん検診、特定健診などあるが、心の健診について実施することはどうか。一案として提案。			
委 ：包括支援センターは、いろいろな相談を受けており、深刻な相談の場合もある。相談を受ける者のアフターフォローの場があればよい。			
委 ：平成30年までの自殺者の数は、一定していたが令和元年で急に増えたが、原因というのは、今までとあまり変わらない原因なのか。			
事 ：原因というのは、4つは、あると言われているので、何が大本の原因かというのは、計り知れないところだが、女性の自殺死亡者が2倍になっていて、健康問題が一番多か			

った。

委：重点施策は、高齢者・生活困窮者・勤務経営ということなので、女性の方にも何かあってもよいと感じた。

委：自殺というのは、非常に難しいもので、本人から死にたいと SOS を出すケースはまだ救う機会がある。むしろそれが内在している人たちを周りがどう見抜いて、早くその（支援の）レールに乗らせてあげることが大事。周りの人たちが気づくことが大事なので、地域の方々への啓蒙活動を今後でも取り組んでいく必要がある。

委：平成 30 年と令和元年の救急車の出動件数や自損行為の件数についての情報提供。自損行為の出動件数は増えていると感じる。また同じ方が利用される状況がある。

委：県ではコロナに関する心のケア相談窓口を設置しており、県全体として増えている。全国的に昨年と比べ 8 月から自殺者が増えてきていることから、生きづらさを抱えた一人親に関する支援について、連携をはかるよう文書が発出されたところである。

委：近年、児童生徒の自殺は発生していないが、心配なケースがありカウンセリング等につないだ事実があった。

委：できるだけ身近なところから啓蒙活動を行ってほしい。

会議資料

【配布資料】

- 令和元年度霧島市自殺対策検討委員会会次第
- 霧島市自殺対策計画（素案）